

### 平成29年度地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	遊休荒廃農地の復旧・えごまの栽培と商品化で後継者の育成
事業主体 (連絡先)	らい鳥えごまファーム 代表 太田 實 大町市大町5944-5
事業区分	(6) 農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	605,983 円 (うち支援金: 382,000円)

#### 事業内容

- えごまの栽培・販売
- えごまの品質保持のため保冷庫の購入
- えごまの品質管理のため水分計の購入 (8%以下)
- えごまを通じてこの地域に健康とおいしさを提供し、えごま栽培の仲間を増やすため、えごまの栽培講習会を開催した。
  - ・平成30年2月7日
  - ・場所：大原公民館 ・参加者：6名
  - ・参加者：8名



【整備したえごま畑】

【目標・ねらい】

#### 事業効果

- 栽培希望者が数名あった (高齢者)。40歳台の若者も1名あり、販売に興味を持ってもらえた。
- 雀の大量飛来・コガネムシの発生が経験できた。
- 栽培面積が、1.6アールから3.6アールに増え、荒廃地は畑として復旧できた
- 東京都立川市の大町市のアンテナショップにもおき、PRした。

- ①後継者の育成
- ②荒廃農地の復旧
- ③収穫時期の見極め
- ④補植をなくす

#### 今後の取り組み

現在11カ所ある販売拠点の拡大に取り組む。  
北アルプス山麓ブランドの認定を受けたことを活かし、大町産をPRしていく。  
栽培の関係では、摘芯と徒長の収量を比較し適性を見る他、適正な収穫期を見極める。  
刈取りの省力化を検討する。  
購入した冷蔵庫を活用し、夏季の搾油で商品が品薄な時期に販売ができるようにする

※自己評価【C】

【理由】  
収穫時期の判断ミスで脱粒・すずめの食害で30パーセントの減収となった。